

第 82 号

平成27年7月31日 発行

茶業会議所広報

発行所

(公社)静岡県茶業会議所

静岡市葵区北番町 81 番地

電話 (054)271-5 2 7 1 (代)

FAX (054)252-0 3 3 1

<http://shizuoka-cha.com/>

榛村会頭の再任

平成27年6月22日(月)において、本会の総会が開催され、平成26年度の事業報告並びに決算が承認されるとともに任期満了にともなう役員の変更がありました。総会終了後、理事会が開催され、新三役が決定され、会頭に榛村純一氏が再任されました。副会頭には、紅林茂氏(再任)、成岡揚蔵氏(新任)が就任され、専務には中田義廣氏が再任されました。

榛村会頭は、再任にあたり、「茶業界低迷の流れを変える総力の結集(戦略体系)」を提示され、この運動方針に沿って進めていきたいと決意を述べた。

第69回全国お茶まつり静岡大会開催!!

第69回全国お茶まつり静岡大会を平成27年11月14日(土)15日(日)静岡市の市民文化会館及び青葉シンボルロード等において、開催する。

第69回全国お茶まつり静岡大会式典は、11月14日(土)静岡市民文化会館中ホールにて、行われる。

詳しい内容については、ホームページを開設したので、ご覧下さい。

<http://shizuoka-cha.com/69ocha-fes/>

カウントダウンボード除幕式

第69回全国お茶まつり静岡大会の開催日(11月14日)の111日前にあたる平成27年7月26日(日)J R静岡駅北口地下広場イベントスペースにおいて、カウントダウンボードを設置し、その除幕式を行った。



お茶まつりポスター

予定される主な消費イベント一覧

イベント名	月 日	場 所
お茶ミュージアム	11月14日(土)~15日(日)	MIRAIEリアン 多目的ホール
お茶を知るセミナー	11月15日(日)	静岡茶市場 大会議室
お茶の歴史展	11月14日(土)~15日(日)	静岡茶市場 2階ロビー
お茶体験コーナー	11月14日(土)~15日(日)	青葉緑地 B5~B6ブロック
ステージイベント	11月14日(土)~15日(日)	青葉イベント広場
企画展 蘭字と印刷ーお茶ラベルの変遷ー	9月12日(土)~11月1日(日)	フェルケール博物館
喫茶楽塾	10月上旬実施予定	静岡市内
逸品お茶会	11月14日(土)~15日(日)	静岡茶市場 拝見場
日本茶AWARD2015関連展示	11月14日(土)~15日(日)	静岡茶市場
静岡県お茶カルタ選手権大会	11月14日(土)	静岡市民文化会館大会議室
茶学術研究会記念大会	11月15日(日)	静岡市民文化会館大会議室
静岡市お茶まつり	11月14日(土)~15日(日)	青葉緑地 B1~B4ブロック
駿府本山お茶壺道中行列・口切りの儀	10月25日(日)	井川大日峠「お茶蔵」ほか
J Rさわやかウォーキング	11月14日(土)	静岡市内 (出発 JR静岡駅)
OCHAおもてなしどころ	11月14日(土)~15日(日)	JR静岡駅北口地下広場 ほか
お茶関連資材展	11月14日(土)	静岡市民文化会館展示室

平成26年度事業報告

茶業会議所が行う各種事業の費用は、皆様が負担されている茶業振興費で賄われています。

「和産和消」の普及推進

静岡茶新茶郵便発送式

（株）静岡茶茶市場で例年行われる新茶初取引において、業界をあげ安全・安心な静岡茶をアピールするとともに「静岡茶新茶郵便」発送式を行った。



平成26年4月23日 静岡茶市場内

「静岡新茶郵便」PR事業

(ア) ひる協発新茶郵便（4月7日～5月26日：毎週月曜日 計8回）

FMラジオ局K-MIXの番組「おひるま協同組合」のラジオリスナーから新茶とともに贈りたい相手への感謝のメッセージを募集し、（応募数88点）、1名のメッセージの応募者と贈りたい相手に静岡新茶を届けた。（計8組）

(イ) ワンダー'69（5月3日～6月7日：毎週土曜日 計6回）

FMラジオ局K-MIXの番組「ワンダー'69」において、パーソナリティの直筆メッセージ付き「新茶郵便封筒」に新茶を入れて、リスナー1名にプレゼントした。

県知事への新茶贈呈式

本県の主要な茶産地の新茶を県知事に贈呈し、本県の新茶シーズン到来を県内外にPR。



平成26年5月1日 静岡県庁前

中小企業テクノフェア2014 in 東京

県内の中小企業が商談を行う場で、商談を和ませるアイテムとして呈茶を実施した。また、静岡茶のPRも実施した。



平成27年2月25～26日 東京都大田区産業プラザ

メディア等を活用した静岡茶のPR

K-MIXコラボキャンペーン

FMラジオ局K-MIXの番組「RADIO KIDS」において、ラジオリスナーからリクエスト曲とともにお茶に関するメッセージを募集し、毎回1名にお茶とスイーツのセットをプレゼントするとともにスタジオもお茶関連用品で装飾を行った。

ベースボールクリスマス2014 in 静岡 での静岡茶PR

SBSラジオ番組「テキトーナイト」の公開生放送において、茶の健康機能性について紹介した。



平成26年12月14日 草薙総合運動場

消費地茶商等との連携による静岡茶販路の強化

消費地茶商等や異業種業界と協働で国内外等のイベント等に出展し、静岡茶のPRを通して、静岡茶の販路強化・拡大とファン発掘を行った。



大阪キャンペーン 平成26年5月22～28日



東京水出し煎茶キャンペーン 平成26年8月19日



地酒まつり 東京 平成26年9月7日

東京都内小学校へのお茶の淹れ方教室用器具の贈呈

東京都茶協同組合との協働による食育を通じた静岡茶の消費拡大のため、東京都内小学校33校にお茶の淹れ方教室用の茶器を贈呈した。



◆平成27年度予算◆

平成27年度の茶業振興費については、下記のとおりです。

1 茶業振興費の徴収

茶業振興費の徴収方法は、従価制とし、茶業会議所・会員及び茶業会議所が徴収を委託した(株)静岡茶市場が徴収する。

2 茶業振興費の負担額

(1) 生産割 売り手（生産者）が負担し、徴収者に預ける。

粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.1%

(2) 宣伝割 売り手（生産者）、買い手がそれぞれ負担し、徴収者に預ける。

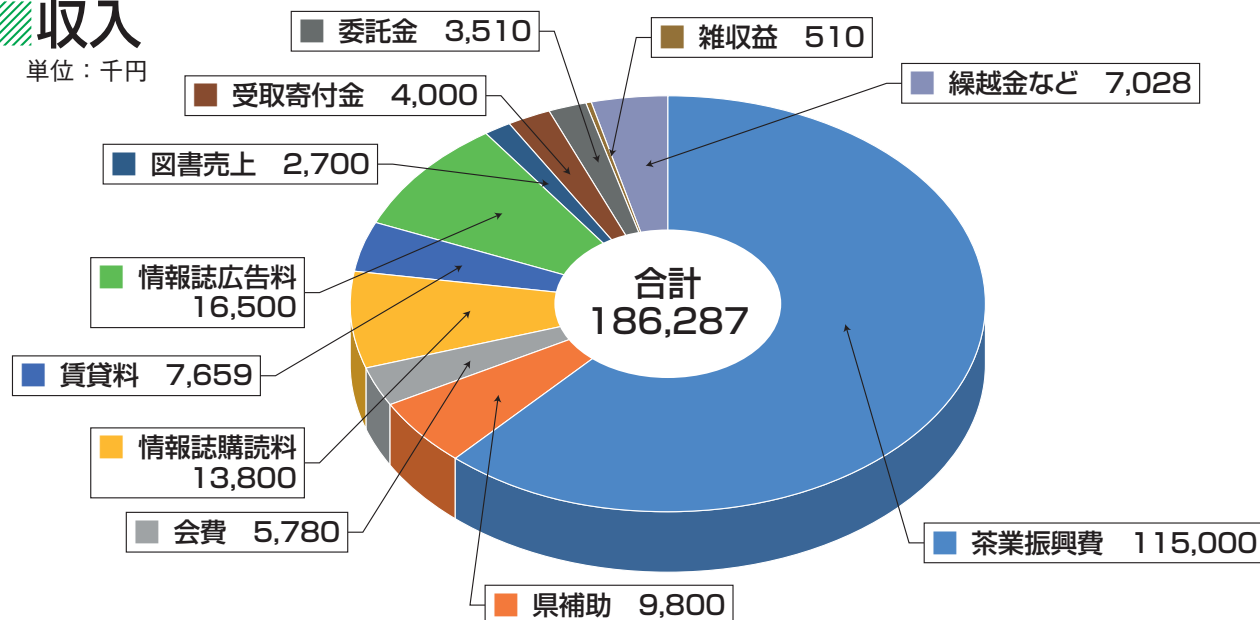
売り手負担分：粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.18%

買い手負担分：粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.18%

皆様の茶業振興費は、このように使われます。

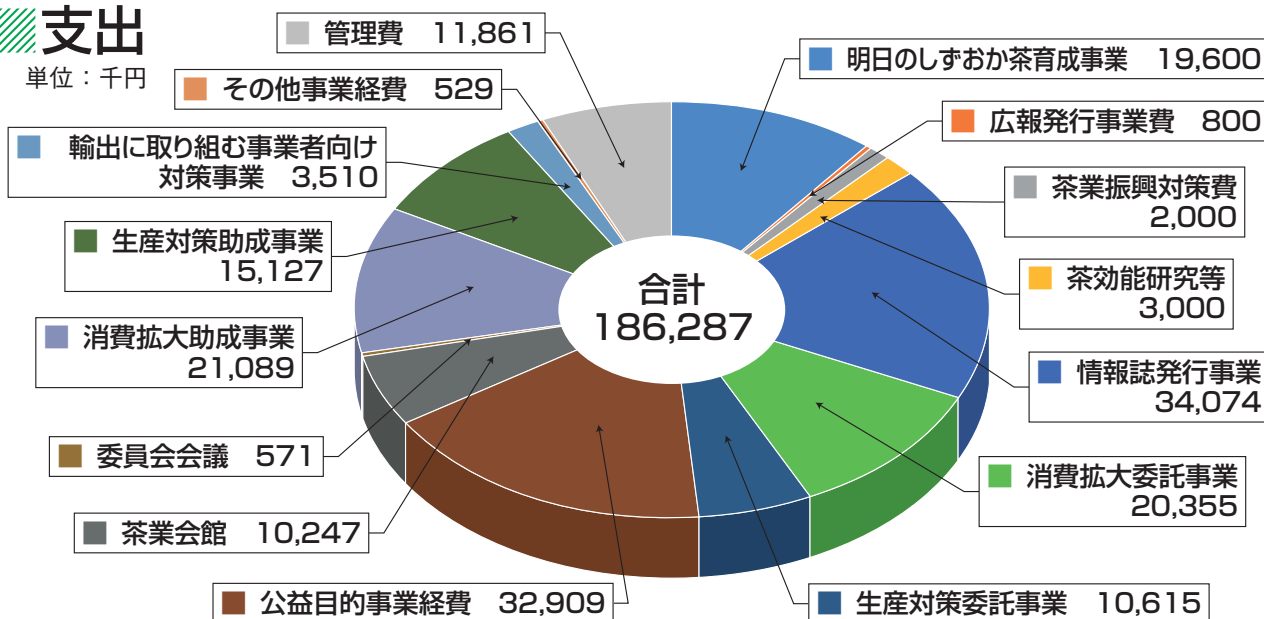
収入

単位：千円



支出

単位：千円



平成27年度事業計画

1 明日のしずおか茶育成事業

(1) しずおか茶安心づくり事業

ア 茶の生産・製造工程管理の推進

茶生産者並びに茶商工業者を対象にT-GAP並びにT-GMPの普及推進を図る。

イ 静岡茶衛生管理者の普及

食品衛生の意識改革と徹底した衛生管理を導入・定着するべく、茶の衛生管理に関する養成講座と認定試験を実施し、衛生管理者の養成と普及を図る。

ウ 安全・安心にかかる広報資料の作成

食品表示法の施行等、制度改正にかかる広報資料を作成する。

(2) しずおか茶ファン創出事業

ア 「こどもお茶学ぶ」講座の開催

県内小学生を中心とした幅広い消費者に対して、静岡県のお茶の歴史や生産、効能等の幅広い学習や美味しいお茶の淹れ方教室を実施し、未来の静岡茶ファンを確保する。

イ 「和産和消」の普及推進による静岡茶のPR

市町、各団体等と連携して、季節や場所・時間にあった静岡茶のキャンペーンを実施するとともに、県内外の人が集まる場所にて静岡茶のPRをする。

ウ パンフレットの発行

静岡茶の産地、製造法、歴史、効能機能性、安全性などを説明するパンフレット等を作成し、配布する。

エ メディア等を活用した静岡茶のPR

テレビ、ラジオ、新聞等各種メディアを活用し、本県の茶に関する産業・文化・学術などをPRし、静岡茶ブランドの強化を図る。

(3) しずおか茶販路開拓事業

ア 茶の効能等のPR

静岡市で開催される全国お茶まつりにおいて、機能・効能の講演会を開催するとともに、日本茶の機能・効能を海外にも発信し、国内外に日本茶の販路強化・拡大とファン発掘を図る。

イ 消費地茶商等との連携による静岡茶の販路強化・拡大

消費地茶商等や異業種業界と協働で国内外等のイベント等に出展し、静岡茶のPRをするとともに、各家庭への急須の普及を図り、静岡茶の販路強化・拡大とファン発掘を行う。なお、グローバルな視点に立った販売戦略とマーケティング、静岡茶の安全性、保健機能、歴史・文化等々について、普及啓発を図っていく。

ウ 静岡茶ブランドのグローバル化（新規）

静岡茶ブランドを海外にPRするために、国際的なイベント等に出展する。

エ 食品表示新制度の普及（新規）

平成27年4月より国が導入する食品の新たな機能性表示制度に合わせ、会員が求める消費者庁が公表したガイドラインに即した表示に対応する相談窓口を設け、あらたな静岡茶の消費拡大を図っていく。

オ 静岡茶流通改革への取組

昨年に引き続き「静岡茶流通センター」の設置に関する基本方針」の実現に向け、各団体等組織討議のうえ、構想案・取引規程を取り纏めます。

2 茶業振興事業

(1) 広報・情報収集、発信事業

本会が実施している事業の告知のため、広報誌を発行する。

(2) 茶業振興対策事業

茶業功績者表彰、県内各地で開催される各種茶業大会、品評会等への表彰状・副賞の交付を行い、茶業の振興に資する。

(3) 茶の効能研究及び「新版 茶の機能」発行事業

ア 茶の効能研究

県大茶学総合研究センターにおける調査研究及び人材育成を行うため、奨学寄附を行う。

イ 「新版 茶の機能」の普及推進

「新版 茶の機能」執筆者によるセミナーや講演会を開催し、茶の機能・効能をPRする。

茶の機能・効能に関する英語版の冊子を作成し、海外でのPR資料としてとりまとめる。

(4) 情報誌・茶業図書の発行事業

ア 月刊誌「茶」の発行

月刊誌「茶」は、茶の総合誌として生産から流通に至る茶業全体を視野に入れた編集に心掛けるとともに、茶業関連情報発信の源として内容の向上に努める。

イ 茶業関連図書の発行と販売について（新規）

製造技術を熟知している研究者のプロの技（基本技術）を一冊の本に纏め、「茶生産の最新技術（製造編）」として刊行し、茶の製造技術の更なるレベルアップを図る。

また、引き続き「新・目で見える茶の病虫害」をはじめとした茶業関連図書の販売に努める。

(5) 委託事業

ア 静岡茶消費拡大委託事業（県茶商へ委託）

静岡茶の販売力強化を図るため、茶どころ静岡のPRに努め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進事業やリーフ茶の需要を喚起するための需要開拓を図るとともに、消費地専門店と連携してより効果的宣伝活動を実施するため、静岡県茶商工業協同組合へ委託事業として実施する。

イ 生産対策委託事業（県経済連へ委託）

本県茶業を維持・発展していくため、消費者ニーズに対応した良質茶の生産、基盤整備・改植の推進、品種茶の生産拡大、全国茶品評会の開催など特色ある茶の生産を積極的に進めるとともに、安全・安心な茶づくりをすすめ、静岡茶ブランド力の強化を図るため、静岡県経済農業協同組合連合会へ委託して事業を実施する。

(6) 輸出に取り組む事業者向け対策事業

日本茶を緑茶のグローバル・スタンダードとし、日本茶の優位性を確立するため、輸出先国の残留基準に適合する実証圃を設置して調査・検討する。海外における日本茶普及活動に不可欠な現地語の資料（茶の機能性）の作成。

3 収益事業

業界の拠点として、広く茶業者の利活用できるような明るい環境を整えるとともに、静岡県茶業会館の保全維持・管理ならびに円滑な運営を図る。

4 その他の事業

(1) 委員会等開催費

財務委員会・事業委員会及び事務連絡会等を開催し、諸振興策を検討し、団体間の連絡調整を図る。

(2) 会員団体助成事業

ア 静岡茶消費拡大助成事業（県茶商へ助成）

静岡茶の普及のため情報の収集・発信を行い、健康的で文化的な食生活と食文化の維持、緑茶の効用や知識の普及、食育の推進等に関する施策を積極的に推進するため、静岡県茶商工業協同組合へ助成事業を実施する。

イ 生産対策助成事業（県経済連へ助成）

国内外の消費者に、安全・安心な静岡茶を供給するための栽培・製造指導及び、技術指導者・後継者の各種研修会を開催します。併せて本県茶業を維持・発展していくため、地域におけるリーダーを育成、国内外にて、静岡茶の販売力強化を図るため、県内各産地のPRに努め、また静岡茶ファンの獲得等推進するため、静岡県経済農業協同組合連合会へ助成事業を実施する。

5 その他関連事業

(1) 全国お茶まつりの開催

(2) 静岡茶消費拡大緊急推進協議会

(3) 新品種・新技術活用型産地育成支援事業

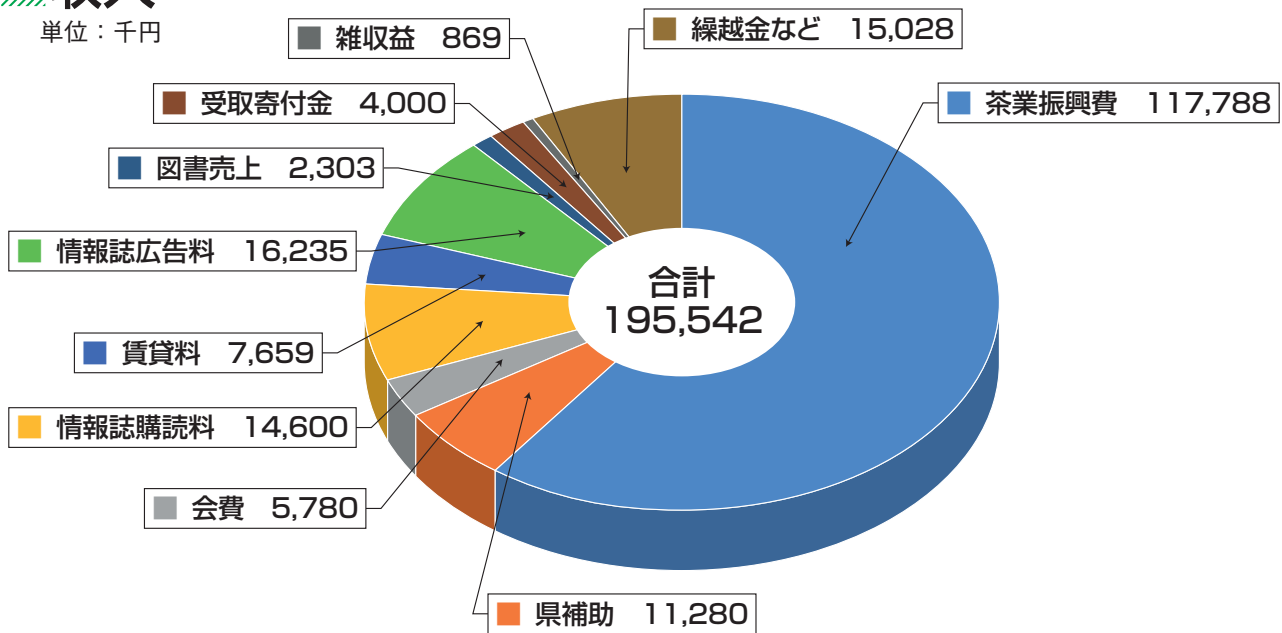
◆平成26年度決算◆

平成26年度事業につきましては、平成27年6月22日(月)に開催した総会において承認されました。

皆様の茶業振興費は、このように使われました。

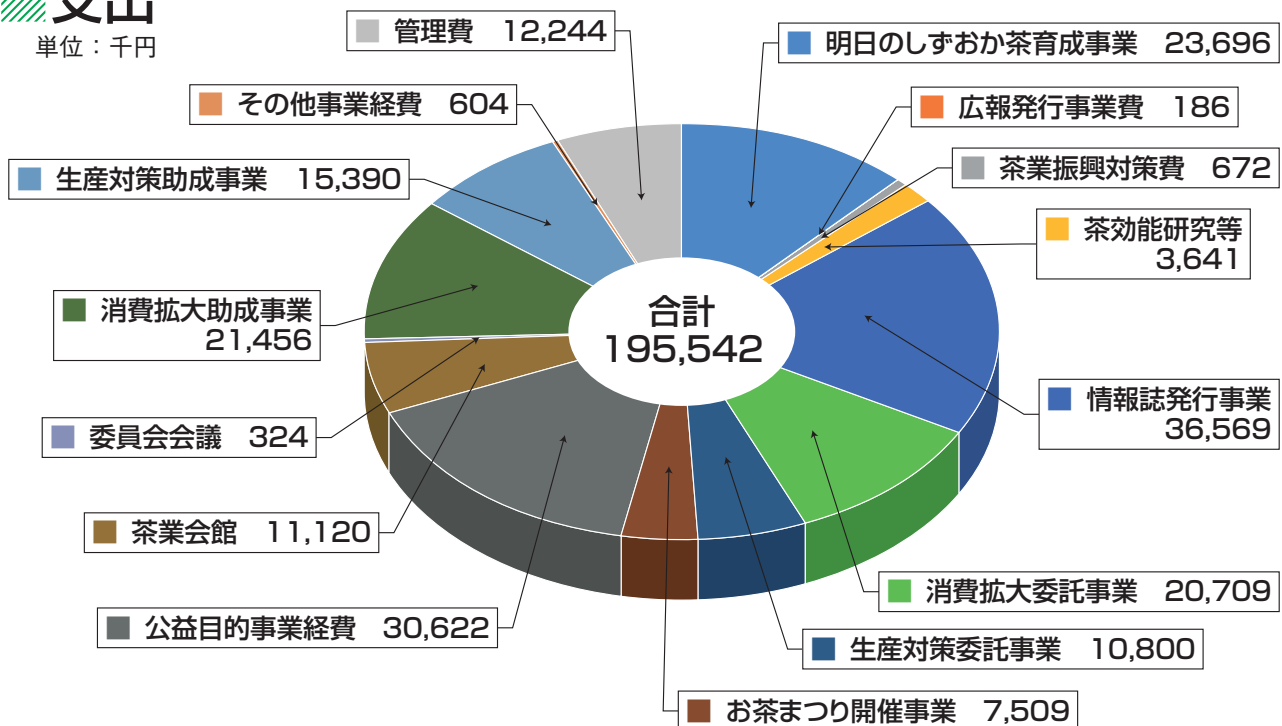
収入

単位：千円



支出

単位：千円



平成26年度事業報告

1 明日のしずおか茶育成事業

(1) しずおか茶安心づくり事業

ア 茶の生産・製造工程管理の推進

静岡茶の信頼と信用を一層強固なものとし、消費者からの指示を獲得すべく、T-GAPの普及推進を図るとともに、生産現場での指導マニュアル等を作成した。

イ 静岡茶衛生管理者の普及

引き続き、食品衛生の意識改革と徹底した衛生管理を導入・定着すべく、茶の衛生管理に関する養成講座と認定試験を実施し、衛生管理者の養成と普及を図った。

(2) しずおか茶ファン創出事業

ア 「こどもお茶学ぶ」講座の開催

県内小学生を中心とした幅広い消費者に対して、静岡県のお茶の歴史や生産、効能等の幅広い学習や美味しいお茶の入れ方を学ぶ出前講座を54校で実施した。

イ 「和産和消」の普及推進

新茶郵便発送式ほか県各団体等と連携し、静岡茶キャンペーンを実施、県内外の消費者へ静岡茶をPR。

ウ パンフレットの発行

静岡茶の産地、製造法、歴史、効能機能性、安全性などを説明するパンフレット等を作成し、配布した。

エ メディア等を活用した静岡茶のPR

K-MIXとのコラボキャンペーン等、ラジオ、新聞等各種メディアを活用し、本県の茶に関する産業・文化・学術などをPRし、静岡茶ブランドの強化を図った。

(3) しずおか茶販路開拓事業

ア 茶の効能等のPR

水出し煎茶の講演会や茶学術研究会と協働でシンポの開催を実施したほか、効能PRグッズを作成した。

イ 消費地茶商等との連携による静岡茶の販路強化・拡大

大阪、東京の大消費地において、静岡茶PRを行ったほか、食育を通じた消費拡大のため、東京都内小学校へ入れ方教室用の茶器を贈呈した。

ウ 茶流通の近代化、効率化への取組

新たな流通センターの設置に向けた、課題の調査・検討を行ったほか、静岡茶関連施設マップを作成した。

2 茶業振興事業

(1) 広報・情報収集、発信事業

ホームページを随時更新し、本会の活動状況を報告した。

(2) 茶業振興対策事業

茶業功績者表彰、県内各地で開催される各種茶業大会、品評会等への表彰状・副賞の交付を行い、茶業の振興に資する。

(3) 全国お茶まつり開催事業

平成27年度に静岡県において全国お茶まつりを開催することになり、準備をすすめた。

(3) 茶の効能研究及び「新版 茶の機能」発行事業

ア 茶の効能研究

県大茶学総合研究センターにおける調査研究及び人材育成を行うため、奨学寄附を行った。

イ 「新版 茶の機能」の普及推進

「新版 茶の機能」執筆者によるセミナーを開催し、茶の機能・効能をPRした。

ウ 「新版 茶の機能」英語版

茶の機能・効能に関する英語版の冊子を作成するため、原稿の収集を行った。

(4) 情報誌・茶業図書の発行事業

ア 月刊誌「茶」の発行

月刊誌「茶」は、茶の総合誌として生産から流通に至る茶業全体を視野に入れた編集に心掛けるとともに、茶業関連情報発信の源として内容の向上に努めた。

イ 茶業関連図書の発行と販売について

「新・目で見える茶の病害虫」をはじめとした茶業関連図書の販売に努めた。

(5) 委託事業

ア 静岡茶消費拡大委託事業（県茶商へ委託）

静岡茶の販売力強化を図るため、茶どころ静岡のPRに努め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進事業やリーフ茶の需要を喚起するための需要開拓を図るとともに、消費地専門店と連携してより効果的宣伝活動を実施するため、静岡県茶商工業協同組合へ委託事業として実施した。

イ 生産対策委託事業（県経済連へ委託）

本県茶業を維持・発展していくため、消費者ニーズに対応した良質茶の生産、基盤整備・改植の推進、品種茶の生産拡大、全国茶品評会の開催など特色ある茶の生産を積極的に進めるとともに、安全・安心な茶づくりをすすめ、静岡茶ブランド力の強化を図るため、静岡県経済農業協同組合連合会へ委託して事業を実施した。

3 収益事業

業界の拠点として、広く茶業者の利活用できるような明るい環境を整えるとともに、静岡県茶業会館の保全維持・管理ならびに円滑な運営を図った。

4 その他の事業

(1) 委員会等開催費

財務委員会・事業委員会及び事務連絡会等を開催し、諸振興策を検討し、団体間の連絡調整を図った。

(2) 会員団体助成事業

ア 静岡茶消費拡大助成事業（県茶商へ助成）

静岡茶の普及のため情報の収集・発信を行い、健康的で文化的な食生活と食文化の維持、緑茶の効用や知識の普及、食育の推進等に関する施策を積極的に推進するため、静岡県茶商工業協同組合へ助成事業を実施した。

イ 生産対策助成事業（県経済連へ助成）

国内外の消費者に、安全・安心な静岡茶を供給するための栽培・製造指導及び、技術指導者・後継者の各種研修会を開催します。併せて本県茶業を維持・発展していくため、地域におけるリーダーを育成、国内外にて、静岡茶の販売力強化を図るため、県内各産地のPRに努め、また静岡茶ファンの獲得等推進するため、静岡県経済農業協同組合連合会へ助成事業を実施した。

5 その他関連事業

(1) 静岡茶消費拡大緊急推進協議会

東京、横浜、の量販店等において、静岡茶フェアを開催した。

(2) 新品種・新技術活用型産地育成支援事業

その他関連事業

県内茶業関係団体が密接に連携し、オール静岡の体制で、静岡茶の普及のため、大消費地（東京、仙台）において、量販店や茶商・メーカーを訪問しトップセールスを行った。



8月19日 東京都



静岡茶キャンペーン2014 in 東北 10月15日～31日（仙台市）

生産対策委託事業（県経済連へ委託）

消費者ニーズに対応した良質茶の生産・基盤整備・改植の推進、特色ある茶の生産を積極的に進めるとともに優秀な指導者の育成確保、安全・安心な茶づくりの推進、静岡茶ブランドの確立を図るため務めた。



認証関係指導

茶園共進会



静岡県茶品評会（煎茶・紅茶審査等）



技術員研修会

後継者研修会



協同製茶研修会

製茶業研修会

静岡茶消費拡大委託事業（県茶商へ委託）

静岡茶の販売力強化を図るため、茶処静岡のPRに務め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進、リーフ茶需要を喚起するための需要開拓を図った。



各種イベントによる消費宣伝事業（静岡茶普及キャンペーン）



冷茶飲用普及啓発事業



お茶の入れ方教室

このほか、組合所属の地区組合においても消費宣伝事業を実施した。

茶の効能等のPR

夏場の需要普及のため水出し緑茶による効能シンポを静岡市と東京都有楽町で開催した。

また、一般消費者を対象に効能に関するシンポジウムを茶学術研究会と協働で愛知県尾張旭市と東京都港区において開催するとともに、最新の茶機能や効能について講演会を茶学術研究会と協働で静岡市において開催した。



平成26年7月8日 静岡茶市場内



平成26年9月21日 愛知県



平成27年2月19日 東京都



平成27年3月17日 静岡市

茶の効能研究及び「新版 茶の機能」発行事業

平成25年11月に発刊した「新版 茶の機能 ヒト試験から分かった新たな役割」をより理解してもらうため、平成27年2月14日～15日東京流通センターで開催された第35回茶業関連商品および機器展示会内において、「新版 茶の機能」活用のためのセミナーを開催した。



平成26年度杉山賞の表彰

杉山彦三郎翁顕彰会は、平成26年5月2日（金）駿府公園マロニエ広場において、慰霊式と功績者の表彰を行った。杉山賞の受賞者は次のとおりです。

- ・茶業振興功労賞
大場 弘一（79）
杉山 暁雄（74）



平成26年度茶業功績者の表彰

本県茶業の発展向上に顕著な功績のあった者や集団を表彰し、茶業の振興に資することを目的とする功績者の表彰を平成26年6月23日（月）に表彰した。

- 石川 裕司（66）
山本 幸夫（65）
山下 太一（65）
牧野 良治（74）欠席

